

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030410812

病院施設番号： 030410

臨床研修病院の名称： 名古屋大学医学部附属病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	名古屋大学医学部附属病院初期臨床研修ハイブリッドプログラムB 岐阜県立多治見病院コース				
2. 研修プログラムの特色	<p>全人的医療を提供するための基本的臨床能力を身につけるために、いくつかの特色を有している。</p> <p>① 卒後臨床研修・キャリア形成支援センターが研修プログラム、研修医評価、指導医評価など、ローテート研修を一元的に管理している。</p> <p>② 研修医の将来の進路や志向性に応じて多様な選択ができるように柔軟性が持たせてある。</p> <p>③ 医療安全管理、医療倫理、医師法・薬機法などの医療の社会的側面なども重要な研修対象と位置づけている。</p> <p>④ 原則、一年次は岐阜県立多治見病院で研修を行い、二年次は名古屋大学医学部附属病院にて研修を行う。</p>				
3. 臨床研修の目標の概要	<p>全人的診療ができるようになるため、基本的臨床能力を身につけ、プライマリケアに対応できることが目標である。</p> <p>① 態度（患者の社会的・心理的側面への配慮、他の医療メンバーとの協調、生涯にわたる自己学習の習慣など）</p> <p>② 知識（頻度の高い症状、緊急を要する疾病や外傷への対処、慢性疾患患者や高齢患者の総合的な管理計画の立案など）</p> <p>③ 技能（頻度の高い症状、緊急を要する疾病や外傷への対処、患者・家族との望ましい人間関係の確立、診療録などの医療記録の適切な作成など）</p>				
4. 研修期間	（ 2 ）年 （原則として、「2年」と記入してください。）				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野 （岐阜県立多治見病院コース）	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
（記入例） x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分	内科	030410	名古屋大学医学部附属病院	24週	週
		030363	岐阜県立多治見病院		
救急部門		030410	名古屋大学医学部附属病院	12週	
		030363	岐阜県立多治見病院		

野	地域医療	032026	みなと医療生活協同組合 みなと診療所	4 週	一般外来 2 週 在宅診療 1 週
		032030	南医療生協 かなめ病院		
		033569	愛知県医療療育総合センター中央病院		
		034718	医療法人 愛生館 小林記念病院		
		034721	亀井内科・呼吸器科		
		116297	中村医院		
		030783	岩手県立釜石病院		
		030784	岩手県立宮古病院		
		030941	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院		
		032815	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院附属篠島診療所		
	056305	日間賀島診療所			
	外科	030410	名古屋大学医学部附属病院	12 週	週
		030363	岐阜県立多治見病院		
	小児科	030363	岐阜県立多治見病院	4 週	2 週
産婦人科	030410	名古屋大学医学部附属病院	4 週		
	030363	岐阜県立多治見病院			
精神科	030410	名古屋大学医学部附属病院	4 週		
一般外来			週	週	
病院で 定めた 必修 科目				週	
				週	
				週	
				週	
選択 科目	その他	030410	名古屋大学医学部附属病院	36 週	週
		030363	岐阜県立多治見病院		
		032051	愛知県赤十字血液センター		
		034717	財団法人愛知健康増進財団		
				週	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 80 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・小児科、地域医療研修 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

- ・原則、一年次は岐阜県立多治見病院で研修を行い、二年次は名古屋大学医学部附属病院にて研修を行う。
- ・臨床病理検討会（CPC）を開催している病院：名古屋大学医学部附属病院
- ・上記研修期間以外は研修医の希望に応じた分野で研修を行う。また、選択可能な分野は次の通り。  
総合診療科、老年内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、消化器外科、血管外科、移植外科、乳腺・内分泌外科、麻酔科、小児科、救急科・集中治療部、産科婦人科、精神科、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、脳神経外科、心臓外科、呼吸器外科、形成外科、小児外科、リハビリテーション科、病理部・検査部・輸血部、化学療法部、中央感染制御部、患者安全推進部
- ・保健・医療行政研修（愛知県赤十字血液センター：032051、愛知健康増進財団：034717）は二年次の 1 年間を通して月 1 回程度行う。
- ・必要に応じて、県や国が求める公的な公衆衛生事業に協力する。
- ・初期研修に引き続き、後期研修を行うことは可能である。